

梅ヶ丘拠点施設への機能移行に伴う総合福祉センター跡利用の方向性について

〔付議要旨〕

梅ヶ丘拠点施設への機能移転により廃止される総合福祉センターの跡利用について、北沢総合支所への北沢保健福祉センターの一体化に伴い移転が必要な公共施設を含め、方向性を検討したので報告する。

1 主 旨

総合福祉センターは、児童発達支援など機能訓練の機能を梅ヶ丘拠点施設の民間施設棟へ、身体障害者福祉センターB型の業務を整理して同民間施設棟と同区複合棟へそれぞれ機能进行し、平成30年度をもって現在の施設機能を廃止することとしている。

機能廃止後の総合福祉センター跡については、梅ヶ丘拠点施設との相乗効果や多様な交流創出の観点に留意しながら整備することを目指し、区立保育園再整備や子ども・子育て施設、梅ヶ丘病院跡地利用基本構想の中で移転候補として検討された周辺公共施設などの活用を検討してきた。

このたび、同施設跡地について、子育て支援や女性の社会活躍推進をはじめとした諸課題に対応するとともに、児童虐待やDV被害防止等の子ども・家庭に関わる福祉的課題に連携して対応するため、子ども・子育て施設と男女共同参画センターを複合化した施設活用の方向性を整理したので報告する。

2 対象施設概要

(1) 総合福祉センター

所在地 松原6-41-7

築年数 築26年

延床面積 4,230㎡(区所有)

施設 水治療法室、作業療法室、相談室、プレイルームなど

(2) 子ども初期救急診療所・薬局・病後児保育施設

所在地 松原6-41-8

築年数 築11年

延床面積 180㎡(区所有)

施設 小児科診療所、薬局、病後児保育室

(3) 子育てステーション梅丘

所在地 梅丘1-31-36

築年数 築4年

延床面積 484㎡(区借上げ)

施設 おでかけひろば、ほっとステイ、発達相談室、保育園分園

その他 年額賃料約1,850万円

(4) 男女共同参画センターらぶらす

所在地 北沢2-8-18 (北沢タウンホール内)
 築年数 築24年
 延床面積 1,200㎡ (区所有、区借上げ)
 施設 研修室、相談室、子ども室、情報交流コーナー、資料コーナーなど

3 跡利用の方向性

(1) 総合福祉センター

子育て関連施設と男女共同参画センターの複合化により、施設全体を子育て支援、DV被害防止、女性の活躍推進を図る拠点として位置づけ、各機能の連携のもと相乗効果を発揮できる環境を整備する。

総合福祉センターは、機能を再編し、梅ヶ丘拠点施設への機能移行を図り、廃止する。

男女共同参画センターらぶらすは、(仮称)第2次世田谷区男女共同参画プラン(平成29~38年度)の策定において、女性のエンパワーメントの拠点施設として、DV相談等のさらなる充実、子育て支援との連携などを踏まえ、移転を検討する。水治療法室(プール)等については、活用方法の見直しを行い継続する。

子育てステーション梅丘は、男女共同参画センターとの連携による子育て支援機能の充実などを検討し、機能を移転する。

(2) 子育てステーション梅丘

民間借上げ施設のため、機能廃止後の総合福祉センター跡へ施設機能を移転し、既存施設は返還する。

(3) 子ども初期救急診療所・薬局・病後児保育施設

子ども初期救急診療所・薬局は、梅ヶ丘拠点施設へ移転する。

病児保育施設など子育て施設としての活用を検討する。

	移転前	移転後
総合福祉センター 4,230㎡	総合福祉センター(水治療法室、作業療法室、相談室、プレイルームなど) 機能を再編し、梅ヶ丘拠点施設へ機能移行を図り廃止する。	水治療法室(プール)等、 子育てステーション梅丘機能、 男女共同参画センターらぶらす
子ども初期救急診療所 ・薬局・病後児保育施設 180㎡	子ども初期救急診療所・薬局・病後児保育施設 子ども初期救急診療所・薬局は、 梅ヶ丘拠点施設へ移転する。	病児保育施設など子育て施設
子育てステーション梅丘 484㎡	子育てステーション梅丘	《借上げ施設のため返還》

4 今後のスケジュール(予定)

平成27年 2月上旬 常任報告(区民、福保)
 4月~ 機能概要検討(概要・概算経費等)
 28年 4月~ 基本構想
 29年 4月~ 基本設計
 30年 4月~ 実施設計
 31年 3月 総合福祉センター機能廃止(梅ヶ丘拠点施設へ移転)
 4月~ 改修工事
 32年 4月 施設開設